

## 新年のご挨拶

平成 24 年元旦  
地方連携推進室長 古沢洋志

地方自治体をはじめ関係者の皆様へ、  
新年明けましておめでとうございます。  
この一年が皆様にとってより幸せなかつ発展ある年であるよう祈念致します。

私が現在のポストに就いて 1 年半が過ぎ去ろうとしています。この間お伺いした地方自治体（都道府県・市）の数は 41 カ所、名刺交換させて頂いた名刺数は 2800 枚にもなりました。お世話になった関係者の皆様方には、改めてここでお礼を申し上げたいと思います。

各自治体におかれては、それぞれの地域において智恵を絞って創意工夫したり、自治体の特色を出しながら海外との交流を展開したり、姉妹都市交流等に取り組んでおられることに対し、感銘を受けております。今後共我が地方連携推進室としましては、「地方の魅力発信プロジェクト」事業等を通しまして、益々地方の方々のお役に立ちたいと思っておりますので、宜しく願い申し上げます。

昨年は、我々を容赦なく襲った東日本大震災により、岩手県、宮城県、福島県をはじめ、東日本の多くの地域の方々あらゆる形での犠牲を強いられた年でした。未だ、福島県では除染等諸々の問題を抱え、「復興」まではほど遠い毎日を営んでおられる方々も多くおいでと承知しております。これらの方々、また仮設住宅に滞在しておられる方々が、なるべく早く安寧な生活をおくれますよう、心よりお祈り申し上げます。

我が地方連携推進室は、外務省の中で唯一、地方自治体関係者の方々と平日頃仕事をさせて頂いている部署であります。そのため、外務省内の他の部署から地方自治体の皆様へのアプローチの仕方や自治体に関する質問、協力依頼などが多数寄せられてきています。また、震災直後から、被災地のニーズを把握しつつ海外からの救援物資の搬送、医療チームの派遣等についてもお手伝いをさせて頂きました。

また、補正予算にて「地方の魅力発信プロジェクト」のスキームの下で、岩手、宮城、福島各県関係者の方々にサンフランシスコ（宮城県、昨年 11 月 17～18 日実施）、マレーシア及びシンガポール（岩手県、マレーシア：昨年 12 月 26 日実施、シンガポール：本年 2 月 8 日実施予定）、ニューヨーク（福島県、昨年 12 月 1 日～2 日実施）に、それぞれ数名御出張頂き、風評被害対策を目的として、観光誘致、地方製品の安全性 PR 等の事業のために在外公館の事務所並びに大使・総領事公邸等を

活用頂いております。現在までに実施済みの宮城県並びに福島県の関係者からは、それぞれの事業の成果や在外公館との連携について高い評価を頂いております。今年度は、これまで在外公館施設を利用されたことのない地方自治体の皆様にも、「地方の魅力発信プロジェクト」事業を活用されて地場産業の海外アピール、風評被害対策等に役立てて頂きますよう期待致します。

これらの諸々の事業、活動等々を通し、当室としましては、特に被災三県の自治体の方々並びに各東京事務所関係者との間に、図らずも緊密な関係を構築することが出来ました。新年は、このような関係を、全国の他の自治体の多くの方々とも構築出来れば良いと考えておりますので、皆様方におかれても宜しくお願い致します。

※「地方の魅力発信プロジェクト」

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/local/info/use.html>